

地域包括支援センターは
高齢者の生活を総合的に支援しています。
お気軽にご相談ください。

住み慣れた地域で
安心して
暮らしたい

○自立した生活を支援します

虚弱な高齢者や、介護保険の介護度「要支援1、2」に認定されたみなさんに介護予防プランを作成して、自立した生活ができるように支援します。

○高齢者の権利を守ります

虐待や消費者被害、成年後見制度利用など権利を守るための相談支援を行います。

○総合的に相談をお受けします

「どこに相談に行けばわからない…」といった場合も、まず地域包括支援センターにご相談ください。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが必要なサービスや関係機関のご紹介をします。

○多方面からみなさんを支えます

高齢者のみなさんへの直接の支援だけでなく、みなさんを支えるケアマネジャーの支援や、地域のネットワークづくりなど、見えないところでみなさんを支えています。



問合せ先

地域包括支援センター（高年介護課内）
☎35-2940



健康な脳

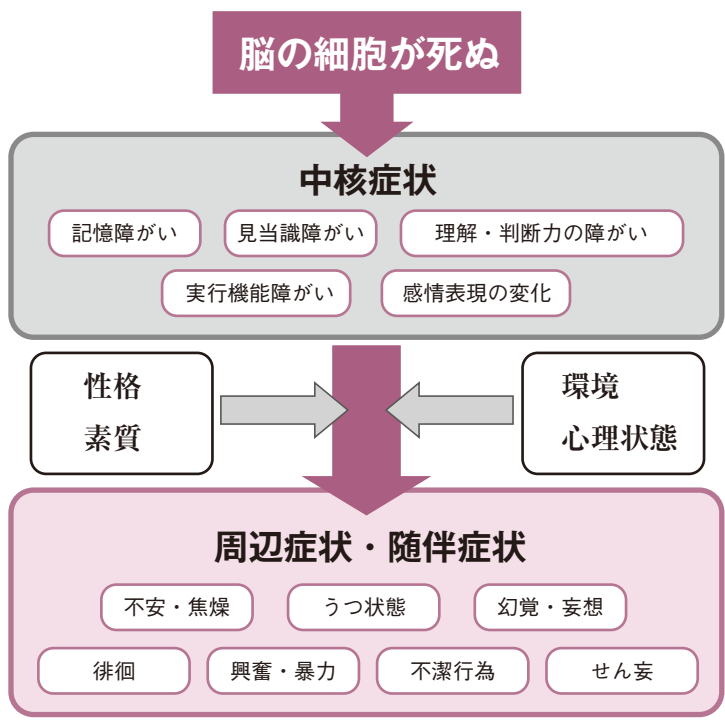


脳の細胞がびまん性に死んで脳が萎縮する
（アルツハイマー病などの変性疾患）



血管が詰まって一部の細胞が死ぬ
（脳血管性認知症）

認知症の症状図



でしょう。認知症の方は何もわからないのではなく、誰よりも一番心配で、苦しいのも、悲しいのも本人です。
多くの認知症の方が「物忘れなんか無い。病院なんか行く必要はない」と言い張り、早く良い形で支援をしたいと願う家族を困らせます。ご本人の「私は忘れてなんかいない」という主張は「私が認知症だなんて」というやり場のない怒りや悲しみ、不安から、自分のところを守るための自衛反応なのです。
認知症という病気になった人の本当のところを理解する

認知症ではないかしら…

認知症も、早期受診、早期診断、早期治療はとても大切です。気になる症状があったら、主治医と相談のうえ専門医（脳神経科、精神科等）の受診を検討しましょう。また、介護の方法など、心配なことがありましたら、高山市地域包括支援センターまでお気軽にお尋ねください。

ことは容易ではありませんが、認知症の方の隠された悲しみの表現であることを知っておくことは大切です。